

●基本情報

事業名(取組名)	シティプロモーション事業(利根町元気プロジェクト!)			評価番号	5-3-10-1.2	
担当課	まち未来創造課	係	シティプロモーション係	<input type="checkbox"/> 予算なし		
基本計画	基本方針	【5】みんなが主役でともに進むまちづくり			会計	【01】一般会計
	基本施策	【3】町民参加を進める広報・広聴の推進			款	【0102】総務費
	施策	【10】まちの魅力を高めるシティプロモーションの充実			項	【010201】総務管理費
	主な取組	①利根町元気プロジェクト!の推進			目	【01020106】企画費
②町公式SNSなどの活用によるまちの魅力発信			事業	シティプロモーション事業		

●計画 ~PLAN~

根拠法令等	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり	名称			
新規・継続	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 継続	事業開始年度	平成 29 年度	<input type="checkbox"/> 事業開始年度不明	
事業期間	<input type="radio"/> 期間限定あり(事業終了年度:令和 年度)		<input checked="" type="radio"/> 単年度繰り返し	<input type="radio"/> 単年度のみ	
実施手法 (すべてチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 町が直接実施(直営) <input type="checkbox"/> 委託(<input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託) <input type="checkbox"/> 補助金等 <input type="checkbox"/> 町民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他()				
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 町単独 <input type="checkbox"/> 国・県補助事業 <input type="checkbox"/> 国・県補助事業+町事業(上乗せ) <input type="checkbox"/> その他()				
事業概要	子どもや若い世代をターゲットに、町民の「元気」を資源としたまちづくり推進のため「利根町元気プロジェクト!」を推進し、町民参加型のイベント開催や、SNS、広報媒体を活用した効果的なシティプロモーション活動を実施する。				

●実施 ~DO~

事業業績	<p>とね元気塾ワークショップ「利根の桜の花みこし」では、3月に閉校したそれぞれの3つの小学校の児童で一つの花みこしを制作した。児童が母校への想いを書いたメッセージカードを桜の花びらに見立てて、一本の大きな桜の木の絵として、花みこしと一緒に展示した。</p> <p>WEBマガジン「コロカル」に町の記事を掲載して町の魅力を発信し、町外に向けて町の認知度の向上を図った。</p>				
支出	主な歳出の節	令和2年度(実績)	令和3年度(実績)	令和4年度(実績)	
	内訳	7 報償費	294,565 円	10,000 円	200,000 円
		10 需用費	29,579 円	106,964 円	181,726 円
		11 役務費	360,800 円	770,000 円	792,000 円
		17 備品購入費	173,996 円	22,880 円	0 円
		18 負担金、補助及び交付金	0 円	35,200 円	0 円
		円	円	円	
	事業費計	858,940 円	945,044 円	1,173,726 円	
財源	主な歳入の科目	令和2年度(実績)	令和3年度(実績)	令和4年度(実績)	
	内訳	国支出金	429,470 円	454,922 円	585,913 円
		県支出金	円	円	円
		受益者負担金	円	円	円
		地方債	円	円	円
		その他	円	円	円
	一般財源	429,470 円	490,122 円	587,813 円	
	事業費計	858,940 円	945,044 円	1,173,726 円	

●評価 ～CHECK～

妥当性	①政策目的との整合性 事業目的が上位政策（主な取組）の達成に貢献しているか。	理由	<input checked="" type="radio"/> 貢献している <input type="radio"/> 見直す余地がある 住民参加型のイベントやワークショップを開催することで、町に関心を持つ機会を創出している。
	②町関与の妥当性 町が事業主体として事業を行うことが妥当か。	理由	<input checked="" type="radio"/> 妥当である <input type="radio"/> 見直す余地がある 町と地域住民が一体となってイベントやワークショップを開催するため、町が主体で事業を行うことは妥当である。
有効性	③成果の向上余地 事業内容を工夫することにより成果を向上させることができるか。	理由	<input type="radio"/> 余地がない <input checked="" type="radio"/> 見直す余地がある 住民参加型イベントやワークショップを開催するとともに、今後は地域の魅力を印象付ける取り組みも必要と考える。
	④廃止・休止の可能性 事業の内容や成果から廃止・休止できるか。	理由	<input type="radio"/> 可能性がある <input checked="" type="radio"/> 可能性がない 町内向けのプロモーションは、継続して行うことでシビックプライドの醸成につながるため、廃止・休止については考えていない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合・連携を図ることにより成果が期待できるか。	理由	<input type="radio"/> 可能性がある <input type="radio"/> 可能性がない <input checked="" type="radio"/> 類似事業はない 町への興味関心や町の魅力を高めることなど、シティプロモーション活動としての独自性があると考えられる。
効率性	⑥事業費の削減余地 成果を下げずにコスト削減できるか。	理由	<input checked="" type="radio"/> 余地がない <input type="radio"/> 余地がある イベントやワークショップなど、時代に合わせて内容により事業費も変動することから、計画した内容に適正な事業費で取り組む。
公平性	⑦受益者負担の適正化 事業内容から受益者の負担割合は適正か。	理由	<input type="radio"/> 適正である <input type="radio"/> 見直す余地がある <input checked="" type="radio"/> 受益者負担を求める事業ではない イベントやワークショップなど、その都度、時代に合わせた事業費も変動することから、計画した内容に適正な事業費で実施する。

●改善 ～ACTION～

今後の方向性	継続（ <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮小 <input checked="" type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 廃止（終了） <input type="radio"/> 統廃合 <input type="radio"/> 連携		
	【理由】	今後も住民参加型のイベントやワークショップを開催し、町の魅力度の向上を図ると同時に、広告戦略を積極的に実施して認知度の向上を図る。また、社会環境の変化に対応したイベントの形や、新たな情報発信の方法についても検討する。	